

第267回研究科委員会・第382回教員会議議事要録

日 時：令和7年2月12日（水） 研究科委員会 12:50～13:35 / 教員会議 14:05～16:45

場 所：後援募金記念棟 会議室 1-3

議 題

◆研究科委員会◆

[審議事項]

1. 研究科長

(1) 令和8年度 研究推進機構予算の配分方法変更案について

最初に、資料1-2の見直し案（新旧対照表）に基づき説明があった。次に、令和8年度からの変更案について、資料1-3に基づき具体的な配分方法の説明があった。この案に対して意見聴取が求められており、今週末を目途に意見を求めるようにしたい。質問等はなく、研究科長からメールで意見をお願いしたいとの発言があった。

(2) 「大学院トランスフェラブルスキル証明書」の発行について

資料2-1に基づき、最初に本件について経緯の説明があった。今年度中に整備して実施した上で、来年度の共通指標に実績として入れ込みたいというのが趣旨である。よって、細かい点の修正は次年度に行うということで、大枠について条件付きで認めていただきたい。特に質問等はなく、条件付きで承認された。

(3) 福島大学次世代研究者挑戦的研究プログラム規程等の制定について

資料3-1に基づき規程の内容について説明があり、内容は先日採択されたSPRINGに係るものである。次に、資料3-2についても説明があった。この内容は推進委員会細則に関するものである。これらについて審議いただきたい。また、資料3-3は募集要項であるが、この内容でよいか確認いただきたい。日本国籍をもつ学生に対しての募集という理解でよいか、との質問があった。研究科長からは、外国籍をもつ学生にも門戸を広げている。他に質問等はなく、提案通り承認された。最後に研究科長から、最後の大学院入試は2月末にあり、そこで対象者が確定する。選考は年度末ぎりぎりとなるが、対象となる学生がいる教員はぜひ検討をお願いしたいとの付言があった。

2. 教務委員会

(1) 共生システム理工学専攻博士後期課程科目「研究インターンシップ」について

資料4は、前回の研究科委員会での意見をもとに、教務委員会で文面を再検討したものである。この内容でよろしいか審議願いたい。質問等はなく、提案通り承認された。

(2) 令和7年度非常勤講師計画について

資料5に基づき説明があり、大学院の授業に係る69番以降について承認された。

(3) 令和7年度9月修了博士論文最終試験日程について

資料6に基づき説明があった。基本的な流れは例年通りであり、一部来年度の日時が未確定の部分がある。また、下線部の事項は学生が行うものであるとの説明があった。質問等はなく、提案通り承認された。

3. 国際交流センター

(1) 大学推薦による国費外国人留学生に関する推薦について

資料7に基づき説明があった。理工学研究科からは3名の応募があり、資料の通り順位づけを行ったことが紹介され、推薦の順位を決定するまでの経緯についての説明があった。1, 2位は博士後期課程の学生、3位は前期課程の学生であり、規程では後期課程が優先されること、1位と2位については他の業績等の基準に照らして決定した。質問等はなく、提案通り承認された。最後に、樋口委員から今後の予定についてアナウンスがあった。

[報告事項]

1. 研究担当責任者（共生システム理工学専攻）

(1) 全学FD研究会の報告書について

資料8に基づき説明があった。昨年10月末に実施された全学のFD研究会における理工学専攻での内

容をまとめたものである。9コースに分かれての実施であったことから様々な意見が出されたが、A4用紙で1枚程度にまとめる必要があったため、主なものについて抜粋したものである。特に質問等はなく、今後、出された意見を踏まえて全学で協議することになっているとの付言があった。

2. 教務委員会

(1) 第128回全学教務協議会について

(報告事項)

・令和7年度シラバス点検について

資料9に基づき説明があった。2月14日締切でシラバス登録をお願いしている。例年通りであるが、内部質保証の観点から確認いただきたいとの報告があった。研究科長から、全学運営会議で学士課程改革についての議題があり、1月末に実施された文科省との事務相談内容が会議運営サイトにアップされているので、併せて確認いただきたいとの付言があった。

3. 学生生活委員会

(1) 学生表彰審査について

資料はない。2月17日、18日の博士前期課程の修論最終試験にて学生表彰のための審査を行うことになっており、審査委員には別途連絡するので対応願いたいとの報告があった。

[その他]

内海・学生生活委員長から、学生のメンタルヘルスに係る件について、研究科委員会終了後に保健管理センターの教授から講和をいただくので、是非聞いていただきたいとのアナウンスがあった。

◆教員会議◆

[審議事項]

1. 学類長

(1) 人事委員の選出について (投票)

最初に、学類長から人事委員について説明があった。2名連記無記名投票とする。役職に就いている教員と今年度末で定年となる教員、3回連続で人事委員となっている教員は除いてある。投票の結果、3名の委員が選出された。

(2) 学類運営会議委員 (分野長及び副分野長) の選出について (投票)

最初に、学類長から学類運営会議委員について説明があった。各分野2名連記無記名投票とする。上位2名を決定し、分野長と副分野長は互選で決めることになる。投票の結果、数理・情報システム分野、物理・メカトロニクス分野、物質・エネルギー科学分野、生命・環境分野から各2名が選出された。

(3) 教員の昇任について

1) 教員の昇任について

最初に、学類長から今年度の教育研究院における教授昇任の議論について経緯の説明があった。その中で、プロジェクター投影により教育研究院会議で提案された新ルールについて紹介があった。全学で5名の教授昇任が認められ、新ルールに基づき理工学類においては2名の教授昇任が認められたことが紹介された。審議の結果、両名を教授昇任候補者として承認された。

2) 教員資格審査委員会の設置について (投票)

上記の報告を踏まえ2名の教授昇任に係る資格調査委員会設置について投票の結果、各4名が選出された。また、所属学系からの委員については学類長と各分野長が相談し、各1名を選出した。

(4) 客員教員の任用について

プロジェクター投影2-1により客員教授11名(うち新規4名)、客員准教授6名(うち新規1名)の申請者が紹介された。人事委員会において、新規申請者については申請書等を確認しているとの付言があった。その後、新規申請者について申請書及び業績リストが投影された。質問等はなく、提案通り承認された。

(5) 客員研究員の任用について

プロジェクター投影3-1により17名(うち新規4名)の申請者が紹介された。人事委員会において、新規申請者については申請書等を確認しているとの付言があった。その後、新規申請者について申請書が投影された。質問等はなく、提案通り承認された。最後に学類長から、任用する方の年齢制限があるわけで

はないが、できるだけ配慮願いたいとの付言があった。

(6) クロスアポイントメント協定書の締結について

プロジェクター投影により説明があった。JAEAとの協定は年度ごとに行うことになっているので、前年度の協定書更新を提案したものである。提案通り承認された。

2. 教務委員会

(1) 接続数学と数学Ⅰの授業運営について

資料10について説明があり、いわゆるクォーター制の導入に係る提案である。2つの必修科目の開講コマを合わせたうえで、一部クォーター制としたいというのが趣旨である。食農学類が既にこのシステムを採用しているので教務的には前例がある。また、月曜4限目の「地球科学」について来年度は1セメ・2セメの両方で開講するので、旧カリ生について数学Ⅰの再履修についても問題ないと考えている。具体的には前半の4月～6月が接続数学、後半の6月～7月が数学Ⅰというスケジュールである提案通り承認された。

(2) 令和7年度非常勤講師計画について

資料5の通り提案があった。学類の授業科目1番～68番についてである。質問等はなく、提案通り承認された。

3. 学生懲戒調査委員会

(1) 学生問題について

プロジェクター投影5に基づき学生の処分について提案があった。他に質問等はなく、提案通り承認された。

[報告事項]

1. 入学試験委員会

(1) 令和7年度一般選抜志願状況について

資料はない。前期日程は最終的な倍率2.0倍(204/102名)であるとの報告があった。

2. 教務委員会

(1) 第126回全学教務協議会について

(報告事項)

- ・令和6年度優秀初年次レポートの選出について

資料11に基づき説明があった。例年通り、1年生のグループ・アドバイザーは対応して欲しいとの依頼があった。締切は2月24日である。

(2) 第128回全学教務協議会について

(審議事項)

- ・高校生先取り履修制度の実施要領の制定について

資料12に基づき説明があった。全学対応を前提として規程とする案であることが報告された。

(報告事項)

- ・「自律的化学物質管理 教育プログラム」初学者向け教材について

資料13に基づき説明があった。文科省からの指示に従い、全学で1年生に対して統一的に説明するための動画を作成した。スタートアップセミナーで開講することを想定しているので、学生生活委員会マターとして、グループ・アドバイザー及びシラバスへの記載をお願いしている。

- ・令和7年度以降の教職科目開講セメスター及び時間割について

資料14に基づき説明があった。理工学類に関わるのは技術科教育法等である。現1年生で技術の免許取得を希望する学生はいないので、来年度は休講となる。再来年度からは技術・工業の免許は廃止される。

- ・令和7年度シラバス点検について

資料9：研究科委員会と同内容なので省略。

2. 学生生活委員会

(1) 学生表彰審査について

研究科で説明済みのため省略。

3. 男女共同参画推進専門委員

(1) 令和7年度前期研究支援員制度利用者の募集について

資料15に基づき説明があった。募集締切は3月4日となっている。

4. 奨学寄附金の受入について

奨学寄附金3件、その他なしとの報告があった。

[その他]

なし

◆教育研究評議会◆

○第426回（1月16日開催）報告

【議題】

(1) 【審議】第4期中期目標・中期計画の変更について

資料1に基づき説明があった。1月末までに文科省へ届け出が必要なものである。資料1-1は新旧対照表で、理工学類の定員増、水素研の評価指標の追加等である。

(2) 【審議】ガバナンス見直しワーキングチームにおける

検討及び改善案について

資料2-1の赤字部分が意見聴取したい箇所となる。黒字部分は評議会で決定する事項となっている。資料2-2に基づき、検討チーム①からの改善案について説明があった。2-3に基づき、検討チーム②からの改善案について説明があった。意見については2月13日が締切なので、意見等は学類長までお願いしたいとの付言があった。資料2-4は他大学の規程についての紹介である。

○第427回（1月28日開催）報告

【議題】

(1) 【審議】ガバナンス見直しワーキングチームにおける検討及び改善案について

資料1に基づき説明があった。前回からの継続審議についての内容である。評議会では黒字部分について審議することとなった。資料1-1の赤字部分が意見聴取の対象項目となっている。資料1-2は検討チーム①からの提案内容、資料1-3は検討チーム②からの提案内容、資料1-4は他大学の規程紹介である。以下の意見が出された：副学長の決定方法を変えるのは危険なのではないか。他大学の例はないのか。学長の考えに近い人材が集中する可能性があり、この制度はかなり心配している。現状のように多様な人材がいた方がいいのではないかと。

(2) 【報告】令和7年度「成果を中心とする実績状況に基づく配分」の算定の考え方等について

資料2に基づき、評価結果の概要やポイントの説明があった。資料2-1、2-2は共通指標の配分額一覧、資料2-3は目標値の設定について紹介である。

(3) 【報告】令和8年度概算要求の方向性について

資料3に基づき、要求の方向性について説明があった。方向性は4つがあげられている。資料3-1は詳細な資料の説明、資料3-2は文科省からの事務連絡文書である。

(4) 【報告】役員給与規則の一部改正について

資料4-1に基づき、3月1日から改正されること、新旧対照表の記載について説明があった。

(5) 【報告】就業規則の一部改正について

資料5-1に基づき、改正する点、新旧対照表について説明があった。

(6) 【報告】学内諸規則等の制定について

資料6-1に基づき、新旧対照表と統括長等が新設されることが報告された。資料6-2は規則についての説明資料である。

(7) 【報告】学長選考・監察会議に関する規則の制定について

資料7-1に基づき、指摘事項について改正を行ったことが報告された。赤字部分が変更箇所である。

(8) 【審議】学内諸規則等の制定について

資料8-1に基づき、学校園の統括長の規則が制定されることが報告された。

(9) その他情報共有等

長橋学類長から、資料9-1に基づき、内閣府交付金の採択について報告があった。続いて資料9-2に基づき、公表概要のポンチ絵について紹介があった。資料9-3に基づき、地域中核事業の採択について報告があった。最後に、これらの採択については次回の教員会議で詳細に説明する予定であるとの発言があった。

◆運営会議◆

○第204回（2月4日開催）報告

【議題】

- (1) 【報告】個人情報保護に関する研修の実施に係る
外国人教育職員への対応について

資料1に基づき説明があり、外国人教員はYouTubeの翻訳機能を使用して視聴するとの説明があった。受講状況の確認は考慮されていないが、理工としては受講状況の確認は必要だと思っているとの発言があった。

- (2) 【報告】公文書管理に関する研修の実施に係る
外国人教育職員への対応について

上記の説明と重複。

- (3) 【報告】令和5年度会計検査院決算検査報告説明会について

資料3-3について説明があり、具体的な指摘事項例があるので参照願いたい。

- (4) 【協議】学士課程改革について

資料4について説明があり、文科省との事務相談の内容について、会議サイトにアップしてある資料を参照してほしいとの発言があった。学士課程改革は遅れ気味であるとの付言があった。

- (5) その他情報共有等

なし

その他

・1月22日に執行部及び財務施設委員長・副委員長とで理工学類棟・実験棟の各研究室を見て回った。新規教員のスペースを捻出したいが、現状としては足りないので全学に要求したい。なお、再配置等の申し出があればお願いしたい。